

薄田鶴一 つるいち 出版人。明治十二年岡山縣淺口郡大江連島村生れ、
 昭和二十年二月二十八日歿（八八〇—一九五）。詩人薄田泣菫の弟。日露
 戦争に従軍、復員後出版業を志して上京、金尾文淵堂に入り、のち獨
 立して獅子吼書房を興す。泣菫著『落葉』（明治四十一年二月二十日
 刊）、『梁川遺稿寸光録』（明治四十一年五月二十五日刊）、瀬江貞葉譯
 『露國文家子エホフ傑作集』（明治四十一年七月二十五日刊）、薄田淳介
 ・鶴一共編『名家書翰集』（明治四十一年十二月十五日刊。復刊・四
 十二年三月十八日梁江堂）等と出版するに程なく廢業。他に、兄との
 共著『新書翰』（明治四十一年五月十日弘學館）がある。
 大正二年岡山に歸り中國民報社に入社、昭和七年退職。

